

学年	教科等	単元等
中3	社会公民	市場の働きと経済「コンビニの経営者になってみよう」

授業内容

経済の学習の導入として、経営について考える

活用アプリ

オクリンクプラス

資料



イラスト出典：いらすとや <https://www.irasutoya.com/>

出店候補地A、B、Cについて
班で話し合いながらまとめるカード



共有コード

共有コードを入力、または
カメラを起動して
二次元コードを読み込む



pb01KE8BRR67CZB948MHFV9Q61XN

準備：

- ・共有コードを使用してカードを取得する。
- ・みんなのボード「ワークシート1」、班の数のボード、「出店希望地」、「ワークシート3」を用意する。
- ・カード「ワークシート1」を子供たちのマイボードに送信する。
- ・カード「資料」「ワークシート2-A」「ワークシート2-B」「ワークシート2-C」を班のボードに送信する。

授業の流れ：

1. 各自、「ワークシート1」を開き、コンビニエンスストアをいつどのような目的で利用しているか入力する。記入したものをみんなのボード「ワークシート1」に送り、共有する。
2. 班のボードを開き「資料」をもとに「ワークシート2-A」～「ワークシート2-C」に話し合いながら入力する。
3. 入力した内容をもとに、班として出店候補地A、B、Cのいずれに出店したいかを決め、決めたカードに班名を入力してみんなのボード「出店希望地」に送る。
4. 各班の出店希望地を理由とともに発表する。
5. 各自「ワークシート3」を開き、各班の発表を聞いた上で個人としてどの場所に出店したいと考えたか、選択肢で選ぶ。選んだ理由を入力する。コンビニエンスストアの出店は地域にどのような影響があるか、本時の取り組みをふまえて様々な視点から考え、入力する。入力した「ワークシート3」を、みんなのボード「ワークシート3」に送る。
6. 「ワークシート3」を全体共有し、私たちの生活と経済についてどのような興味関心を持ったか伝え合う。

サポータ
おすすめ
ポイント

- ・身近なコンビニエンスストアを題材に、経営について考えます。
- ・カードの項目に応じて班で想像力を膨らませながら話し合い、多角的にとらえます。
- ・各班や個人の意見を共有するタイミングで選択肢集計やキーワード集計も活用できます。